

兵庫選挙区候補予定者 相崎 佐和子

届ける!
叶える!
あなたの声!

世界的・長期的なとりくみで、あなたと日本の安全を守ります!

- 平和的・現実的な外交と安全保障を推進します。
- 専守防衛にもとづき領土・領海・領空を守ります。
- 自助に頼りすぎないマイノリティも包括した災害対策をすすめます。
- 再生可能エネルギー転換へのインセンティブを付与します。

社会保障を充実させ、あなたの生活を底上げして人生を豊かにします!

- 子育て、教育、介護、福祉などベーシックサービスの質・量を底上げします。
- 幼児教育から小中高まで無償化となるようとりくみます。
- 特別支援教育の人的サポート強化等の支援を充実させます。
- 育児介護休業給付の実質100%を実現させます。

透明で信頼できる手法でとりくみます!

- 公文書管理徹底のための公文書記録管理機関を設置します。
- 隠ぺい防止のための情報公開制度の抜本的な見直しをおこないます。
- 内閣人事局による幹部職員人事制度の見直しをおこないます。

伊丹市議会議員、兵庫県議会議員として、15年間、制度の改善を積み重ねてきました。保育所待機児童や介護離職などの問題を抱え、がんばりたい人ががんばれない社会を改善し、お互いさまで支え合う社会、ベーシック・サービスが十分に行き届く安心社会をつくります。

私たちの声を届け、叶えるために、全力で行動します!

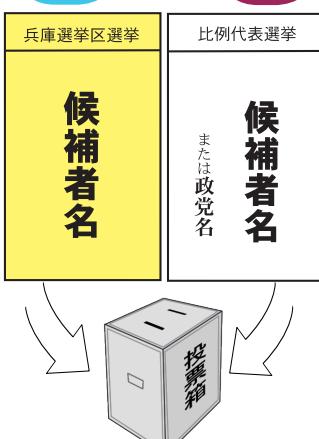
☆相崎佐和子のプロフィール

- 1973年芦屋市生まれ
- 明石市立松ヶ丘小学校
→宝塚市立仁川小学校
- 私立親和中・
親和女子高(神戸市)
- 国立奈良教育大学
- 国立奈良教育大学大学院
- ケーブルテレビピアノウンサー
- 第12代兵庫県広報専門員
- 伊丹市議会議員3期(第61代議長)
- 兵庫県議会議員1期
- ローカル・マニフェスト推進連盟共同代表
- 出産議員ネットワーク関西ブロック代表
- 全国マニフェスト大賞受賞(第11回個人 第16回団体)
- 教員免許(小学校・中学校社会・高校地理歴史)



兵庫選挙区 相崎佐和子

の必勝を!



選挙区、比例代表とともに
「候補者名」
で投票を!

日政連比例代表候補予定者 古賀 ちかけ

子ども!
くらし!
平和!



子どもが安心して学び続けられる制度の充実をめざします!

- ゆたかな学びと育ちを保障するためには教育予算の拡充と教育環境の整備にとりくみます。
- 貧困・いじめ・虐待等、子どもをとりまく問題解決にとりくみます。
- 子どもの権利条約の具現化にとりくみます。

だれもが安心してくらせるよう、雇用の安定・労働条件の改善、社会保障の充実をめざします。

- 実効性のある教職員の「働き方改革」にとりくみます。
- すべての働く人の労働環境の改善と雇用の安定にとりくみます。
- 子育て、高齢者支援などの社会保障制度の拡充にとりくみます。
- 一人ひとりが尊重される共生社会の実現をめざし、ジェンダー平等、障害者の雇用促進などにとりくみます。

平和・人権・民主主義などの憲法理念が生かされる社会の実現をめざします。

- 原発ゼロをめざし、クリーンで安全な自然エネルギーの推進にとりくみます。
- 大規模自然災害に強い「まちづくり」にとりくみます。
- 憲法改悪を阻止し、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の堅持にとりくみます。



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 森戸卓也
編集人 小林健
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2022/6・1

号外

家庭版

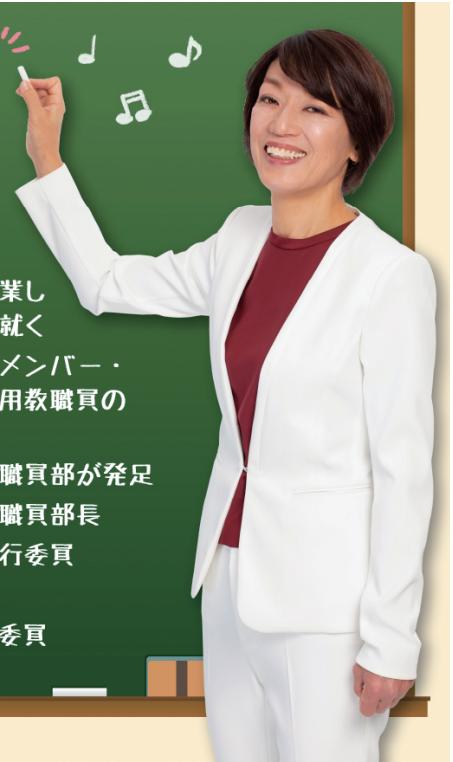
私は、30年間、教員として働いてきました。子どもたちのゆたかな学びが叶えられる学校づくりがしたいという思いで、新たな舞台に挑戦することを決意いたしました。

また、「家庭における格差」が大きくなっていることを危惧しています。だれもが、ゆたかに、安心して暮らしていく平和な社会の創造にとりくんでまいります!

子ども、くらし、平和

★古賀ちかけのプロフィール

- 1966年福岡県久留米市生まれ
高校卒業まで久留米で育つ
- 1989年熊本大学教育学部音楽科を卒業し
福岡県内の小中学校で教職に就く
- 2003年福岡県教職員組合講師連絡会メンバー・
結成準備世話人として臨時採用教職員の組合結成にむけとりくむ
- 2005年福岡県教職員組合臨時採用教職員部が発足
- 2009年福岡県教職員組合臨時採用教職員部長
- 2012年福岡県教職員組合朝倉支部執行委員
- 2018年日本教職員組合専門委員
- 2020年日本教職員組合特別中央執行委員



兵庫選挙区 相崎佐和子さん

比例代表 古賀ちかげさん とともに！



5月21日、三木市文化会館大ホールで政策・制度要求実現！兵退教協・兵政連「政策・制度実現」全県総決起集会が開催された。兵教組・兵高教・兵厚労・兵退教協、兵政連のみなさん 約1,200人が三木市文化会館およびサテライト会場から参加した。

「教え子を再び戦場に送るな！ゆたかな学びと育ちの実現を！」のスローガンを掲げ集会はおこなわれた。

森戸卓也兵教協議長の主催者あいさつの後、来賓を代表して、瀧本司日教組中央執行委員長と兵政連会長のみずおか俊一参議院議員から、激励・連帯のあいさつが述べられた。(下記参照)

続いて、「相崎佐和子」さん、「古賀ちかげ」さんの決意表明がおこなわれた。(下記参照)

引き続き、兵教組、兵厚労、兵退教協、それぞれの代表者から、参議院議員選挙にむけたとりくみへの決意が力強く述べられた。

**私たちが願う政策・制度要求実現のため
相崎佐和子・古賀ちかげの完全勝利を！**

比例代表候補予定者

古賀ちかけさん

私が国に届けたい声は3つ。1つめは、子どもたちの声。15年間議員をしてきて、様々な声を聞いてきた。特にしんどい状況を抱えている子どもたちの声を政治の場に届けて、よりよくしていきたい。例えば、家庭の経済的な状況で教育格差が生じ、進学ができない。また特別に支援やサポートが必要としている子どもたち、不登校などで学校に行かぬがしんどいという思い



兵庫選挙区候補予定者

熱く、強い思いでとりくんでいる。しかし、過酷な勤務状況である。「特別支援に携わる教職員の数をもつと増やしてほしい」という声を聞いた。それは、支援が必要な子をサポートしたけれど、教職員の人数が不足しており、悔しい思いを抱えているということだつた。教職員の皆さんのが熱い思いをしつかりと受け止めて、国を変え、教職員がその思いを十二分に發揮

争をすることではない。核を保有することではない。日本は戦争を放棄する。日本はいかなる戦力ももたないということを今こそ発信することが、国民のいのちとくらしを守ることにつながるのだと思つてゐる。父が平和教育の中で、「教え子を再び戦場に送るな!」と言つていたことを覚えてゐる。日本がすんぐでいくこうとしている方向は、国民を戦場に送ろうとしてい

しているのだという声を上げなければならない。この参議院議員選挙は大切な選挙になると思っている。子どもたちの声、教職員の声、平和の声を今こそあげなければいけない。兵庫県では、平和の議席を確保しなければならない。そのためには私は全力でとりくむ。これらの声をぜひ一緒にあげてください！

を紹介する。無差別抽出式（サンプル数約1,000件）における政党支持率において、自民党は28.3ポイント、その次は日立維新27.1ポイント、この次は公明党10.9ポイント、立憲は7.9ポイント。兵庫選挙区は3名候補。公明党、維新を切り崩さないといけない。皆さんには何ができるのか？何が決め手になるのか？集まつて、まずは県下で声を聴く、または県下で声を聴いてくれる、

拳区において、相崎佐和子さんを国会へ送ることにつながる。今兵庫県の参議院議員で私たちの声を届ける議員は一人もいない。私たちの声仲間の声を届けることは難しいことは事実。だからこそ、皆さんの仲間に声をかけ、輪を広げていくとくみを一緒に続けていくう。ともにがんばろう!

中心に考えて教育をしていかなければならぬ。2つめは運動。私は20年間、臨時採用教職員だった。賃金が低く、待遇も悪く、雇用も3月にはいつも切れていった。常に不安があり、諦めていた。「採用試験に

こそが実させることなかでさることを改めて感じた。国内にも核共有、軍事増強、憲法改悪といった動きがすんでいる。九州をまわつたとき種子島に行つた。近くに馬毛島という島があり、種子島の人「馬毛島

ないことを弁信している
平和を守つていく民主的な
社会、声をあげられる社会
を守つていく。

崩しいからこそ、私はじきに
できないことを一歩ずつ進んでいく。精一杯、兵庫
愛を感じながらがんばついくので、精一杯の応援
よろしくお願いいたし、す！

みずおか俊一 参議院議員

ている仲間の思いには今も残る
わらず大事である。選挙と
教育は切り離せない。政治
と教育は切つても切れない
い。二つの思いを皆で

日教組の組合員から教えてもらつたことは2つ。
1つめは子どもの見方。
私も5年前まで教壇に立つていた。子どもの思い、保護者の願い、生活背景の全部を見て、知つてから子どもを見なよとはなつよい。

た。教育は子どもをしつかりとめていくこと。おかしいことには声をあげること。この2つを心の根っこに留めて皆さん思いを国に伝えていくことを約束する。

樂が市内中に流れる。学校でも子どもたちがその音樂を聴き、原爆のことを話し、當時の出来事を語り継ぐ。皆さんが阪神・淡路大震災から復興され、力強く生きているように長崎の皆さんも復興へ今さら後遺症で

的に苦しんでいる女性が多くさんいる。自信が持てずに悩み、自死が増えている。子育て・介護の視点をもち、政策に入れていかなければならぬ。そして政策決定の場に女性がいることが大事。田崎さんこそも

比例代表候補予定者

古賀ちかげさん

受からない自分が悪い」と思っていた。その時、「おかしいことには声をあげる。権利は待っていてくれるものではない。自分たちで運動し、勝ち取り、仲間をつくり、連帯して大きな一步がすすんでいく。おかしいことに声をあげること。それが運動」と教わった。

長崎では、8月9日の11時2分に原爆を許さない音

は昔は人が住み、農業や漁業が盛んで緑いつぱいの島だった」と言っていたが、実際行つてみると、軍事基地の建設がすすんだ真っ黒の島になつていた。こうして少しづつ戦争の気配が近づいている。

改善していきたい。

雙呆音

A wide-angle photograph of a large audience in a theater or auditorium. The seating consists of red tiered rows. Most people in the audience are wearing white shirts. They are all raising their right hands, likely participating in a group activity or vote. The theater has wooden paneling on the walls and several vertical banners hanging from the ceiling.